

令和5年度 事業報告書

◆令和5年度法人方針と活動状況について

◎はじめに・・・

外出してもマスクをする機会、マスクをしている人の割合が大きく減少し、以前の暮らしに戻り、安心を感じる一方で、ウクライナ問題やイスラエル・パレスチナ問題など不安定な世界情勢の中、食品や燃料の高騰が改善されず、給与も上がらないことから暮らしの安定がいつ戻るのか、多くの方が不安を抱え暮らしているのが現状であります。

障害福祉において、令和6年4月より報酬改定が行われました。以和貴会においても、予算作成時に確認を取りながら準備を行ない、「収入が減少するだろう」という事業もありましたが、4月実績では収入を下げることもなく、前期比104.2%（予算達成率も104.2%と、予定を少し上回る収入の保ができてスタートしております。

令和6年度以降、新規事業やゆらくの里の改修など、大きな支出が発生する予定ですが、すべてに関してきっちりと計画を立て実施することとします。なおこれらの費用は、予算には含まれておらず、年度内の実施が決まれば、計画及び補正を理事会において承認いただき進めていきます。

地域の方々の協力と感謝をもって以和貴会は運営しており、ご利用者様および職員にとってより良い法人で居続けることができるよう、引き続き運営をしていきます。

顧客志向

～ 商業マインドとウェルフェアマインドの融合～

法人方針に対する各事業の目標設定と活動結果報告

1. 各事業 令和5年度取り組み報告

□ゆらくの里拠点

近年、福祉人材の確保が困難な状況で外国人労働者に頼らざるをえない現状にあります。特に入所支援施設では全国的に人員不足が常態化しており、そのような課題も含めて、ゆらくの里の旧棟（いぶき棟・みのり棟）の改修を検討してきました。

改修に関しては、上記の課題を踏まえ、定員を変更することも含めて再検討に入っています。

令和5年度はゆらくの里の事業方針である「ご利用者に分かりやすく伝え、丁寧な支援する」を実践していくため、ご利用者様目線での生活を考え、時には会議にてみんなで確認し合い、職員一人一人が「顧客志向」の方針を意識し支援を行いました。

サービス管理面

令和5年度は、QOL（生活の質）向上、自閉症支援の再構築、口腔ケアを昨年と同様に継続して重点的に取り組んできました。

QOLの向上に関しては、職員全員に改修アンケートを2回実施し、職員1人1人にご利用者様が過ごしやすい環境・職員が働きやすい環境を考えました。この意見を改修に取り入れていけるよう進めていきます。

自閉症支援に関しては、令和5年度も同じメンバーで共通した認識を持って学び、学んだことを現場支援に活かせるよう取り組んでいます。6月からは、自閉症 e サービス全国ネット代表の中山氏にコンサルに来ていただき、2名のご利用者様の支援についての的確な助言でよい結果が出ており、職員の実践スキルの向上にもつながりました。この事例結果については、2月に奈良県知的障害者施設協会の研修で報告しました。令和6年度も続けて、コンサル契約を継続し、結果に結び付けていくよう取り組んでまいります。

口腔ケアに関しては、継続して歯科衛生士が週3回、グループごとに口腔ケアを

実施し、ご利用者様1人1人の口腔内の状態も大きく改善でき、支援者側の口腔ケア技術・口腔ケアに対する意識の向上にもつながりました。

財務管理

令和5年度は、ゆらくの里・風鈴山荘の満床を目指して取り組んできました。最終3月末において、ゆらくの里（60名定員）は59名。風鈴山荘（16名定員）は16名満床であります。ゆらくの里の空室に関しては、他施設から1名の方が来られる予定でありましたが、強度行動障害を有しており、ゆらくの里の環境に馴染めず、現状入所にはつながっておりません。今後も受け入れる方向で、現入所施設職員と連携を図ります。

短期入所に関しては、ゆらくの里（定員10名）及び風鈴山荘（定員2名）の利用向上を図るため、1年間を通して相談事業所・学校関係等との連携を積極的に進め、また地域の緊急ショートも積極的に受け入れてきました。結果、新規利用契約を8名増やすなど、利用率向上につながる取り組みは行うことができ、前年度実績より約7,000,000円の収入増につながりました。

将来において入所希望を考えられている方が5名おり、短期入所の利用を増やし施設環境に慣れていただき、いつでも入所できるように支援体制を整え、今後も継続して入所希望待機者を増やしていき、経営の安定化を図ります。

人材育成

リーダー育成に関して、PDCAサイクルの活用を意識した事業計画作成とその取り組みについて指導してきました。また、職員間での情報共有の周知徹底においてリーダーを中心に行い、チームとしての支援体制の構築も図ってきました。

日々、虐待防止の取り組みを積極的に行ってきましたが、1月に虐待事案がゆらくの里内で1件起こり、香芝市への報告を行ないました。今後の防止策を明確にし、職員全体に周知しました。

令和6年度、法人では「虐待ゼロ宣言を目指す」という方針を掲げ、虐待ゼロになるように取り組んでまいります。

□今人拠点

▶ワークサポートセンター今人

令和5年度は、新規利用者獲得に向けた取り組みを行うとともに、活動の充実を目指し、ご利用者様主体になるよう活動内容や作業の役割分担などを見直し、ご利用者様自身の達成感や自己肯定感を高めていくことに努めました。また、安定した事業の継続の為、就労収支の改善に向け、各活動において「収入を増やす」ことを目標に掲げ取り組みました。

収入を増やすアクションの1つ目として、新規利用者獲得を実行しました。結果を出す方法として、関係機関、特に特別支援学校と連携を図り、事業所見学や実習を積極的に受入れました。その結果、令和5年度中に生活介護3名の新規利用者の獲得につながりました。

また就労収支の改善事項として、「ふえりーちえ」については、パンの売上を向上させるために、イベント販売にも積極的に参加し販売を行ない、就労収入は前同比119.9%の11,832,555円まで増加させることができました。清掃班については、高齢者施設の委託清掃業務が、コロナ感染対策の影響による制限も徐々になくなり、前同比104.8%の2,792,482円となりました。主業務のほか尼寺廃寺跡清掃やポスティング活動等も継続しました。内職班は、ワイヤー切り、巻き、袋入れ、梱包、ブラシの袋入れ、砂の袋入れを中心に内職作業を実施しています。また資材が不足しないよう内職業者にも連絡を取り合いながら、資材の確保に努めました。予算をクリアする事はできませんでしたが、前同比120.5%の407,226円と大きく増加させることができました。

生活介護事業は、新規のご利用者様も入り、利用率の向上は実現しました。令和6年度は、利用率100%を目指し取り組んでいきます。

就労継続支援B型は、令和5年度の利用率は平均70%でありました。他事業所ご利用の方や通院等でお休みされた事が要因となっております。令和6年度の目標は、B型の新規ご利用者様を2名以上の獲得し利用率80%を目指せるよう取り組んでいきます。

継続課題として、ご利用者様のニーズ把握に努め、利用したいと思っただけの魅力のある事業所作りを継続して実施してまいります。

▶我楽（GALA）

○生活介護「さぼーと」

令和5年度は「各々の能力を最大限に生かした活動を構築する」を目標にニーズ調査や参加されている活動の調査、新しい活動の導入に取り組みました。ニーズ調査や参加されている活動の満足度調査を実施することはできましたが、新しい活動の導入につなげるまではできませんでした。今後も引き続き、新しい活動を増やすことができるように調査と検討を行なってまいります。

収支状況としても収益を残すことはできましたが、新規ご利用者様の利用につなげることが出来ておらず、令和6年度は、1名以上（目標2名）の獲得を目指してまいります。

○就労継続支援B型「モンステラ」

ご利用様が主体的にできる仕事を増やし、やりがいや働きがいを感じていただけるような支援を提供することを目標に日々の活動を行ってきました。また生産工程の細分化による作業効率の向上やご利用様の障害特性・能力に対応した担当業務の細分化などの見直しを実施しました。

▶すみれの里

令和5年度、新型コロナウイルス感染症の混乱も「インフルエンザ同等」とみなされ、ご利用様も落ち着きを取り戻し、安心してご利用いただいております。すみれの里における感染症予防は、「安全・安心」の為に、手洗いやうがいの支援、館内消毒など多数の感染予防対策を継続して実施しております。各活動におきましては、ご利用様に対する生産活動や創作活動、運動リハビリ等の活動を提供し、ご利用様の創造性の向上と健康維持を考慮し日々の活動に取り組みました。

健康管理支援の一環として、昨年より継続中の「口腔ケア」の取り組みをより強化させました。口腔ケアの目的は、口の中を清潔にするだけでなく、歯や口の疾患を予防し、口腔の機能を維持することにあります。口腔内を清潔に保つことはQOLの向上のみならず誤嚥性肺炎などの全身疾患の予防、全身の健康状態の維持・向上につながります。ご利用様の健康管理を重要課題と捉え、健康で生き生きと住み慣れた地域で暮らし続けることができるように、日々の活動をこれからも提供してまいります。

▶すみれの里～ふれあいキッチン SORA～

令和5年度はコロナ禍の影響により減少したお客様を取り戻すために努力した年となりました。年間を通してより多くのお客様の来店及び注文で、美味しい料理やお弁当を召し上がっていただける様に取り組んでおり、例えば季節ごとに旬の食材を活用したメニューの考案により、美味しく健康に配慮したお料理の提供を行う事でお客様が増えました。これからも地域の皆様に愛され、より多くの皆様にご利用いただける様にしてまいります。

地域とのつながり

○音楽

月1回 ボランティア1名 参加ご利用者様 平均18名

電子ピアノで季節の音楽やご利用様のリクエスト等に応じて演奏をしていただき一緒に楽しく歌う活動。

○ふたば(喫茶)

月1回 ボランティア9～10名 参加ご利用者様 平均21名
紅茶とお菓子を用意していただき、喫茶店風にご利用者様と一緒に飲食を行う活動

○ふたば(クラフト)

月1回 ボランティア1～2名 参加ご利用者様 平均7名
季節に応じてペーパークラフトを用意していただき、ご利用者様と一緒に工作を行う活動。

○口腔ケア（奈良県歯科衛生士会派遣）

偶数月の隔月 ボランティア2名 参加ご利用者様 平均21名
口腔ケアに関してのレクリエーション活動と集団歯磨き指導。

※高齢の方中心のふたばボラ（喫茶）のメンバーを配慮して代表者と実施有無の相談や、他ボランティア受け入れに関しても、昨年より継続して感染予防策を講じながら細心の注意を払い実施しております。

職員配置

生活介護では、職員の増員による支援の充実を図るため、新規ご利用者様の獲得に力を入れております。また、重度障害者支援加算取得の為の職員配置を継続しています。前年度からの増減もなく、安定した職員配置になっております。

正規スタッフ：5名

パートスタッフ：17名（看護師含む）

新規ご利用者様受け入れ

奈良県立西和養護学校・奈良県立高等養護学校・相談支援センターから施設利用につながる為、積極的に実習受け入れを行っております。令和5年度は、3名の新規ご利用者様との契約に繋げることができております。

生活介護：3名（令和6年度4月より利用開始）

就労継続B型：0名

ご利用者様のニーズ

ご利用者様の抱えている障がい特性や状況（休みがちになられる）に合わせ、個別支援や家庭訪問等のサポートを実施しております。外出機会を活動内容に多く取り入れ、社会参加へのサポートなども取り組んできました。現状のご利用者様のニーズにあった活動内容の提供（年齢・障害の程度など）も検討が必要になっております。

ご利用者様の健康管理

健康診断結果後の嘱託医からの指導及び助言、その内容をご家族様に連絡し、生

活面におけるご提案を継続実施。歯科検診を含めた口腔ケアも継続して取り組み、健康面の維持・増進に力を入れてきました。また、法人職員の歯科衛生士とも連携し、専門的なケアの取り組みを実施しております。

今後もご利用者様の健康増進に繋がる口腔内衛生を重点的に進めていきます。

□地域拠点

▶HUG・LIVE・JOY

令和5年度は、年間を通して非常に高い水準で安定した利用受け入れを行うことができました。前年度は平均利用率 85.4%であったのに対し、今年度は平均利用率 97.2%と大幅な利用率の伸びが見られます。

要因として、新規利用希望者の獲得による全体的な利用人数の底上げが結果に表れたのであります。(利用契約者数 前期：134名 今期：149名)中でもLIVEクラスの利用希望者が多く、単体での年間平均利用率は 106.9%と非常に高い水準で利用していただくことができました。またHUGクラスも 100.0%と安定した利用率を残し、JOYクラスも 80.2%→84.6%と改善が見られました。また、JOYクラスは5月より正規スタッフが産休に入った後、1名スタッフが少ない中での運営を行ったことは、支出面の貢献だけでなく、スタッフの育成にもつながりました。

サービス向上のための取り組みとしまして、各クラスのテーマに沿って、それぞれで支援の充実に向けて取り組んできました。

○HUG 「運動療育」

年間を通してレクリエーションルームで跳び箱や平均台、鉄棒などを使った身体を動かすトレーニングを実施しました。実施予定としていましたレクリエーションルーム内の環境調整は、令和6年度に再度計画を立てて実施する予定です。

○LIVE 「自立支援」

月々で実施している休日開所日の活動の中で、調理の練習や買い物訓練等を実施しました。また好評であった電車の乗降など公共交通機関を使用した訓練を令和6年度も計画する予定です。

○JOY 「ICT療育」

職員の欠員によりご利用児童に対して十分な支援を行うことはできませんでしたが、タブレットを使用して基本的な操作方法の練習や情報検索の手順などについて、訓練を少しずつ進めていくことができています。令和6年度より正職員の補充ができますので、計画的にICT療育を取り入れていくことができるように準備していきます。

▶相談支援事業（しえ〜く）

令和5年度は「相談者の生活水準の向上を目指す為に、ご本人並びに関係者（ご家族様等）と質の高い生き方を考えていく」を方針とし、サービス等利用計画の見直しや関連機関との連携と関係性の強化、情報収集に努めてまいりました。それにより、サービス等利用計画と個別支援計画との連動を図り、更なる支援の充実に寄与できたものと考えます。

サービス向上につきましては、先にもありましたようにサービス等利用計画と個別支援計画を連動したものにするため、事業所への情報提供を行ない、必要に応じてケース会議を開催し、利用計画の内容が深まるように事業所でのモニタリングを行ってきました。

財務管理では、相談支援員を1名増やし、これまで行えていなかった方へのモニタリングに注力してまいりました。また、新規の相談者の受け入れも積極的に行ったことで、事業活動収入が予算比123.5%の20,303,185円（前同比122.3%）、事業活動支出は、人件費の増加もあったことで、予算比116.8%の17,747,205円（前同比111.9%）となりました。その結果、事業活動収支差額は予算比203.8%の2,555,980円（前同比344.1%）を残すことができました。

人材育成は、さまざまなケースに対応できるように、毎月テーマを決めディスカッション方式の研修を実施し、支援員の専門性向上を目指した取り組みを実施しております。

▶共同生活援助事業（グループホームのあ）

- ①個別支援計画書作成フローを構築しそれに基づいた支援をする。
- ②安心して暮らせるグループホームを設立する。

令和5年度事業方針『入居者満足度を高める』をもとにしたアクションプランに沿って実践してきました。

《サービス管理》

入居者本位のサービス提供

- ① 個別支援計画に基づいた寄り添った支援の実践。またご利用者様が能動的な意思決定の機会が増えるよう支援をする。

専門的なサービス提供を実施するため、個別支援計画書作成フローの見直しから行っています。フェイスシート・アセスメントシート更新、個別支援計画作成および

ニーズを過不足なく達成させるため、全入居者に『支援の手引き』追加資料を付け情報共有と統一した支援が実践出来るようしています。

② ニーズ（ご利用者様・御家族様）を取り入れた（セールスポイント）グループホーム設立

短期入所契約者（24名）の内13名をグループホーム入居希望者として確保しています。

《財務管理》

事業基盤の強化

① 既存事業の収支管理の強化

毎月、事業別資金収支予算書実績から計画と実績を比較し最大収益率を維持しています。問題点が発生したときは行動計画を立て解決・改善を実施しています。

- ・令和5年6月 新規入居者 山村殊嵐さん
- ・令和6年4月 新規入居者 藤井あずささん
- ・認定調査更新に同席し意見を反映させる。障害者支援区分平均 3.5⇒3.64
- ・令和5年度短期入所契約者数 12名
- ・11月利用料改定
- ・短期入所事業月平均利用率 139.8%（令和6年3月時点）

② 事業拡大（グループホーム設立）

- ・6/2 各部署から人選されたプロジェクトメンバーでキックオフミーティング開催しています。
- ・短期入所契約者（24名）の内13名をグループホーム入居希望者として確保しています。
- ・令和5年度スタッフ採用者5名（リファラル採用4名）

《人材育成》

ご利用者様が安心感を持てるサービス提供

個別支援計画書に基づいた寄り添うことの出来る支援者育成。

4月と10月にスキルマップで個別評価し理解不足分を研修会参加や学習教材で補う。

個々にスキルマップを作成。階層別に振り分け人材育成を行っています。

▶ヘルパー事業（そ〜る123 居宅介護・行動援護・移動支援）

令和5年度も継続して「地域で暮らすために必要な支援を提供していく」という事業方針に基づき、新規利用者の獲得と現在利用中の方のスケジュール調整などの聞き取りを行ってきました。その結果、112名の契約数になりました。

しかし下半期に入り、複数の職員の退職に伴い、ヘルパーをする職員が不足したことにより支援体制維持が困難になり、今まで支援をしていたご利用者様の支援を中止するという対応をとらざるを得なくなりました。結果、収入の方も11月以降は、毎月1,000,000円以上の収入減となりました。

来年度に向けてヘルパー事業の運営について検討が必要となりました。

○利用率

① ゆらくの里（入所支援事業） 定員60名

	R05.4.1	増加	減少	R06.3.31	平均年齢	平均年数
男	38	2	1	39	48.3	17.1
女	20	0	0	20	55.7	22.3
計	58	2	1	59	50.8	18.8

※1名が入院による減少。2名が新規で入所されました。

ゆらくの里（生活介護事業） 定員60名

	R05.4.1	増加	減少	R06.3.31	平均年齢	平均年数
男	55	2	1	56	47.0	17.9
女	21	0	0	21	54.3	21.4
計	76	2	1	77	49.0	18.8

風鈴山荘（共同生活援助） 定員16名

	R05.4.1	増加	減少	R06.3.31	平均年齢	平均年数
男	15	1	0	16	45.2	20.9
女	0	0	0	0	—	—
計	15	1	0	16	45.2	20.9

※平均年数は、ゆらくの里の入所と通算で記載

※風鈴山荘の定員は、令和5年3月に14名から16名に変更しました。

② 今人

事業名	定員	R03年度 利用率	R04年度 利用率	R05年度	
				延べ人数	利用率
就労継続B型	10	88.3	77.0	1911	71.0
生活介護事業	20	82.7	83.4	4868	90.5

我楽

事業名	定員	R03年度 利用率	R04年度 利用率	R05年度	
				延べ人数	利用率
生活介護事業	20	104.4	99.2	5111	95.0
就労継続B型	10	97.5	120.7	2987	112.3

すみれの里

事業名	定員	R03年度 利用率	R04年度 利用率	R05年度	
				延べ人数	利用率
生活介護事業	20	77.3	78.6	4747	88.2
就労継続B型	10	56.7	57.3	1888	74.6

③ 放課後等デイサービス

事業名	定員	R03年度 利用率	R04年度 利用率	R05年度	
				延べ人数	利用率
はぐらいぶじょい	30	86.1	87.2	8013	96.8

※令和4年4月1日より「ゆらくの里デイ」を「はぐらいぶ」に吸収させ「はぐらいぶじょい」とし定員30名の施設となりました。

※令和3年度は2事業合計した実績で表記

のあ

事業名	定員	R03年度 利用率	R04年度 利用率	R05年度	
				延べ人数	利用率
共同生活援助	14	99.5	96.6	4900	95.6

※令和4年8月1日よりサテライトを開始し定員が14名に変更

○利用契約者数

近年、各事業管理者の努力により、多くの事業で定員を満たす状況となってきました。良い支援を行うためには、利用率を上げ高い水準で収入を確保することから始める必要があることを意識した結果であります。令和6年3月31日現在、まだ定員に未達の事業もありますが、引き続きご利用者の獲得を進め、同時に職員の適切な配置と支援の充実を進めていきます。

① 今人

事業名	定員	現在契約者数			対定員倍率
		令和5年4月1日	令和6年3月31日		
就労定着支援		0	0	→	—
就労継続B型	10	10	9	↓	0.90
生活介護事業	20	21	23	↑	1.15

我楽

事業名	定員	現在契約者数		対定員倍率	
		令和5年4月1日	令和6年3月31日		
生活介護事業	20	25	23	↓	1.15
就労継続B型	10	15	14	↓	1.40

すみれの里

事業名	定員	現在契約者数		対定員倍率	
		令和5年4月1日	令和6年3月31日		
生活介護事業	20	25	27	↑	1.35
就労継続B型	10	7	9	↑	0.90

② 放課後等デイサービス

事業名	定員	現在契約者数		対定員倍率	
		令和5年4月1日	令和6年3月31日		
はぐらいぶじょい	30	107	117	—	3.90

※令和4年4月1日より「ゆらくの里デイ」を「はぐらいぶ」に吸収させ「はぐらいぶじょい」とし定員30名の施設となりました。

③ 短期入所

事業名	定員	現在契約者数		対定員倍率	
		令和5年4月1日	令和6年3月31日		
ゆらくの里 短期入所	10	47	61	↑	6.10
風鈴山荘 短期入所	2	11	14	↑	7.50
のあ 短期入所	1	12	22	↑	22.00

※のあは、令和3年8月1日より定員1名で開設。

※風鈴山荘の定員は、令和5年3月に4名から2名に変更。

□令和5年度職員状況について

令和5年度は法人全体として、正職員は6名減、非正規職員は2名増となりました。ご利用者の増加への対応及び充実した支援の実施につなげるため、随時採用を行ってききましたが、それを上回る退職者がいた1年でありました。

正規職員の採用は、新卒採用はなく、1名の中途採用および1名の非正規の正規登用による増加であります。一方、体調面などにより正職員から非正規職員へ変更する職員や退職により正職員は減少となりました。非正規職員、派遣職員のほかに、外国人雇用者を2名採用し、将来の支援の担い手と期待しております。なお、正職員の中には、1名の退職者、3名の育休が含まれています。

事業名	R5. 3. 31			R6. 3. 31			常勤 換算	平均勤続年数			平均年齢		
	人数			人数				男	女	計	男	女	計
	男	女	計	男	女	計							
ゆらくの里													
サービス管理責任者	2	0	2	2	0	2		10.2	6.6	8.6	43.0	38.5	41.0
正職員	17	14	31	17	13	30	30.0						
パート職員	20	16	36	20	14	34	18.5						
計	39	30	69	39	27	66	48.5						
今人													
サービス管理責任者	1	0	1	1	0	1		8.2	8.9	8.4	36.0	34.9	35.7
正職員	3	2	5	2	1	3	3.0						
パート職員	1	7	8	1	5	6	3.6						
計	5	9	14	4	6	10	6.6						
我楽													
サービス管理責任者	1	0	1	1	0	1		8.2	10.7	9.2	44.6	49.8	46.8
正職員	3	3	6	3	3	6	6.0						
パート職員	5	20	25	4	17	21	11.4						
計	9	23	32	8	20	28	17.4						
すみれの里													
サービス管理責任者	1	0	1	1	0	1		13.3	12.5	12.9	50.5	41.8	46.2
正職員	2	3	5	2	3	5	5.0						
パート職員	3	14	17	3	14	17	8.3						
計	6	17	23	6	17	23	13.3						
はぐ・らいぶ・じょい													
児童発達支援管理責任者	1	0	1	1	0	1		12.0	5.3	7.0	33.9	27.9	29.4
正職員	1	7	8	1	6	7	7.0						
パート職員	2	3	5	3	4	7	3.7						
計	3	8	11	5	10	15	10.7						
しえ〜く													
正職員	1	1	2	1	1	2		13.2	8.4	10.8	48.6	51.8	50.2
パート職員	0	1	1	0	2	2							
計	1	2	3	1	3	4							
事業企画推進室													
正職員	2	1	3	2	0	2		6.5	-	6.5	38.6	-	38.6
パート職員	-	-	-	-	-	-							
計	2	1	3	2	0	2							
のあ													
サービス管理責任者	1	0	1	1	0	1		8.9	17.0	13.0	49.9	58.9	54.4
正職員	0	1	1	0	1	1	1.0						
パート職員	2	12	14	5	12	17	6.4						
計	3	13	16	6	13	19	7.4						
そーる 123													
サービス提供責任者	1	1	2	0	2	2		28.0	14.4	18.9	49.9	57.2	54.7
正職員	0	1	1	1	0	1							
パート職員(登録)	1	4	5	1	5	6							
計	2	6	8	2	7	9							
管理													
正職員	4	3	7	4	2	6		16.2	14.4	15.6	57.2	47.3	53.9
パート職員													
計	4	3	7	4	2	6							
厨房													
正職員	3	1	4	3	1	4		10.9	18.0	12.7	43.5	53.8	46.1
パート職員	2	9	11	2	8	10							
計	5	10	15	5	9	14							
合計													
サービス管理責任者	8	1	9	7	2	9		11.1	8.9	10.1	44.4	40.9	42.9
正職員	36	37	73	36	31	67							
パート職員	36	82	118	39	81	120							
計	80	120	200	82	114	196							

※看護師はゆらくの里に含み、アルバイト職員は含んでいない。
 ※パート職員の常勤換算数は、簡易算出として給与支給計算期間の令和5年3月支給の給与期間により算出しているため、あくまで参考である。(常勤の月勤務時間数を150時間で計算)
 ※合計欄の「サービス管理責任者」には、「児童発達支援管理責任者」及び「サービス提供責任者」を含む。
 ※そーるのパートは、法人外の雇用ヘルパーのみ記載し、職員の兼務者は含まない。

□令和5年度残業について

令和5年度が始まった当初は、前年度と同様の時間外労働が申請され、それに沿って勤務していましたが、9月に労働基準監督署の立ち入り調査により確認すると、打刻時間が、時間外申請時間以上に長く、労働していたのではないかとのこと。6月以降の時間外労働時間の再確認と支払を実施、それ以降、打刻には気を付け、必要である時間外労働は実施し申請を行なっている。

〔時間〕

単位：時間

分類	R03年度	R04年度	R05年度			
			人	時間	増減率	1人/月
ゆらくの里	2690:45	3917:30	44	5838:00	+49.0%	11:03
通所	1537:30	2100:15	15	4259:00	+102.7%	23:39
地域	1674:15	1488:00	12	2578:15	+73.2%	17:54
計	5902:30	7505:45	71	12675:15	+68.8%	14:52

〔金額〕

単位：千円（1人あたりは円）

分類	R03年度	R04年度	R05年度			
			人	金額	増減率	1人/月
ゆらくの里	5,047	7,643	44	12,184	+59.4%	23,076
通所	2,849	4,306	15	9,094	+111.1%	50,527
地域	2,853	2,725	12	4,941	+81.3%	34,315
計	10,750	14,674	71	26,220	+78.6%	30,775

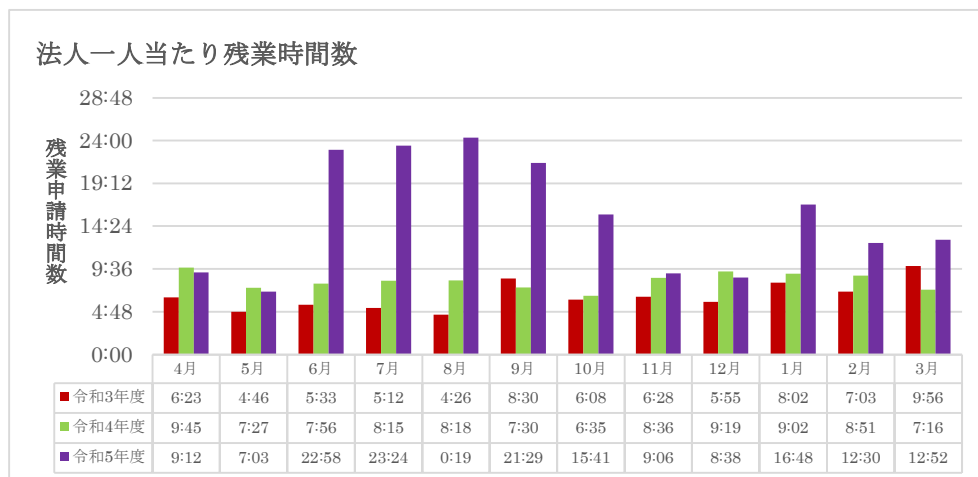
※集計は申請分のみ

※職員数（人）は、時間外を申請した職員数（途中退職者含む）で、管理者は除く。

※分類 ゆらくの里・・・下記以外の事業（間接職員含む）

通所・・・・・・今人、我楽、すみれの里

地域・・・・・・児童、のあ、しえーく



□令和5年度有給休暇取得について

平成31年4月からの「働き方改革」により、年5日の有給休暇の取得が義務化され、令和5年度も計画通り年5日以上取得は実施できました。ゆらくの里においては、職員及びご利用者様の間でコロナが広がったこともあり、有給休暇の取得日数は増加しました。

分類	R03年度	R04年度	R04年度			
	取得日数	取得日数	人	取得日数	1人当たり取得日数	未取得者数
ゆらくの里	523.0	359.5	48	427.5	8.90	0
通所	241.5	162.0	16	139.5	8.71	0
地域	69.0	114.0	14	128.5	9.17	0
計	833.5	635.5	78	695.5	8.91	0

※資料は、退職者を含む同期間の正職員のみを対象とする。

※各事業の管理者を含む。

※分類 ゆらくの里・・・下記以外の事業（間接職員含む）

通所・・・・・・今人、我楽、すみれの里

地域・・・・・・児童、のあ、しえーく

□令和5年度事業活動収入対人件費比率について

令和5年度人件費総額は、前年度比101.7%（10,525,873円）増の646,144,092円となりました。令和4年度が令和3年度と比べ、人件費の大幅増とそれに伴う事業活動収支差額の減少もあり、予算より人件費を抑制する計画となりました。しかし結果として、法人全体では、労働基準監督署の調査による未払給与の支払い等により増加となりました。

令和6年度は、社会保険の適用拡大、最低賃金の改定、改正された処遇改善加算、不足人員の確保など増加要因がありますが、大幅な増加は、近い将来において法人運営の大きく影響を及ぼす要因となります。

しかし「人材」は法人にとって、貴重な「財」であるため、いかに上昇率を緩やかに維持できるかが鍵となります。給与規程の改定なども考え対応を検討していきます。

《ゆらくの里分類》

労働基準監督署の立ち入りより時間外手当の未払給与の支給などにより、約1700万円の増加となりましたが、事業活動収入が、令和3年度を上回り「過去最高」を更新したこともあり、事業活動収入対人件費比率は、62.1%（前期比+0.2%）に抑えることができました。適正な人員配置を確認し大幅な増加につながらないように管理していきます。

《通所分類》

ゆらくの里同様、労働基準監督署の立ち入りにより未払給与の支払いが発生したもの

の、退職等による配置人員減となった際には、業務効率の見直し等を図り、新たな採用を最低限に抑えることができました。結果、前期と比べ約700万円（前期比96.0%）減少しました。事業活動収入対人件費比率も55.6%にまで下げることができました。

《地域分類》

地域事業においても労働基準監督署の影響もありましたが、通所同様、退職や育休による休職者に対する補充を最低限に抑え運営に支障がでないような運営を行ってきました。結果、人件費は、令和4年度とほぼ同額で終えることができましたが、事業活動収入増加となったことで、事業活動収入対人件費率は、63.1%（前期比△6.3%）まで下げることができました。

[比率]

分類	R03年度	R04年度	R05年度	
			人件費率	前年度比較
ゆらくの里	58.8%	61.9%	62.1%	+0.2%
通所	62.3%	62.3%	55.6%	△6.7%
地域	64.7%	69.4%	63.1%	△6.3%
計	60.8%	63.2%	60.4%	△2.8%

※分母の収入には就労収入を含んでおります。就労収入を差引くと法人全体で63.3%（前期比△3.5%）となります。

※分類 ゆらくの里・・・ 下記以外の事業（本部を含む）
 通所・・・・・・ 今人、我楽、すみれの里
 地域・・・・・・ 児童、のあ、しえーく

[金額]

単位：千円

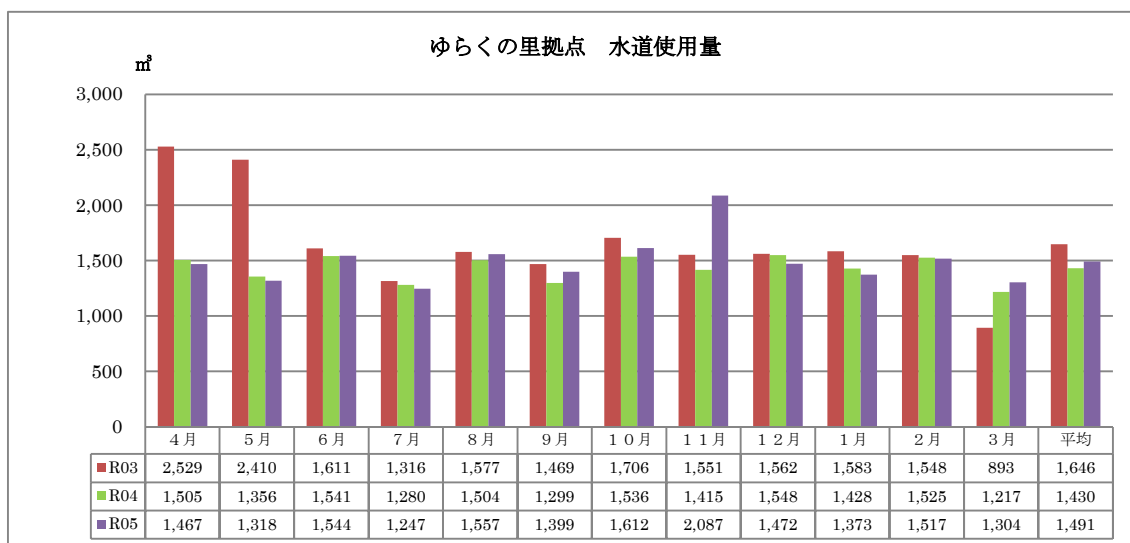
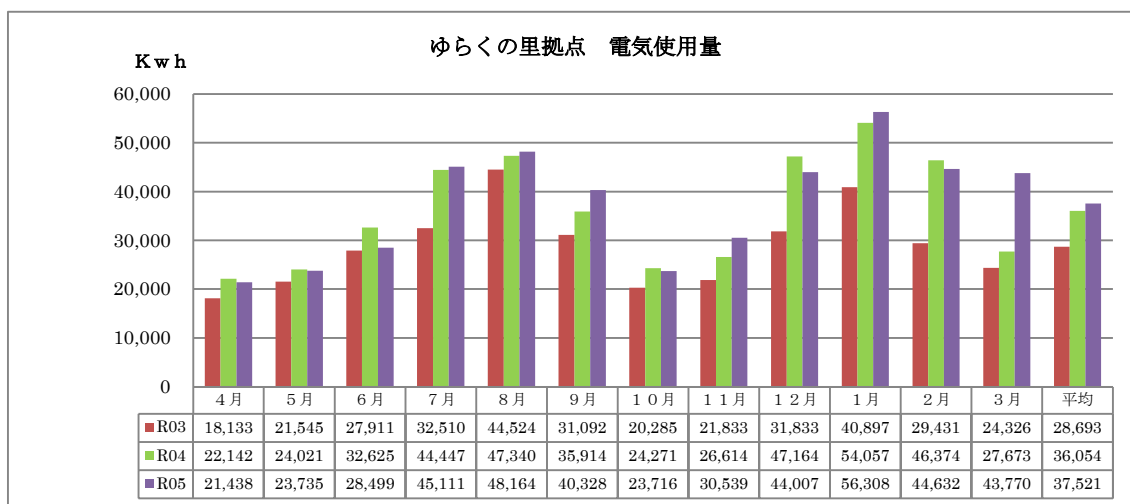
分類	R03年度	R04年度	R05年度		
			人件費	前年度比較	増減率
ゆらくの里	313,424	348,793	366,390	+17,596	105.0%
通所	166,714	179,493	172,493	△7,252	96.0%
地域	94,450	107,330	107,513	+182	100.2%
計	574,590	635,618	646,144	+10,525	101.7%

□令和5年度光熱水費について

① ゆらくの里拠点

電気使用量を抑えるためにデマンド装置の設置を行ないました。電気使用量の抑制は、暖房冷房共に不快感のない設定で運用しました。エアコンについては、冷房よりも暖房使用が大きく増加しているため対策が必要と思われます。水道については、11月が大きく増加（原因不明）しましたが、その他の月は、大きく増減することなく無駄のない使用を心掛けております。なお、ゆらくの里では11月に漏水があり使用量が増えています。

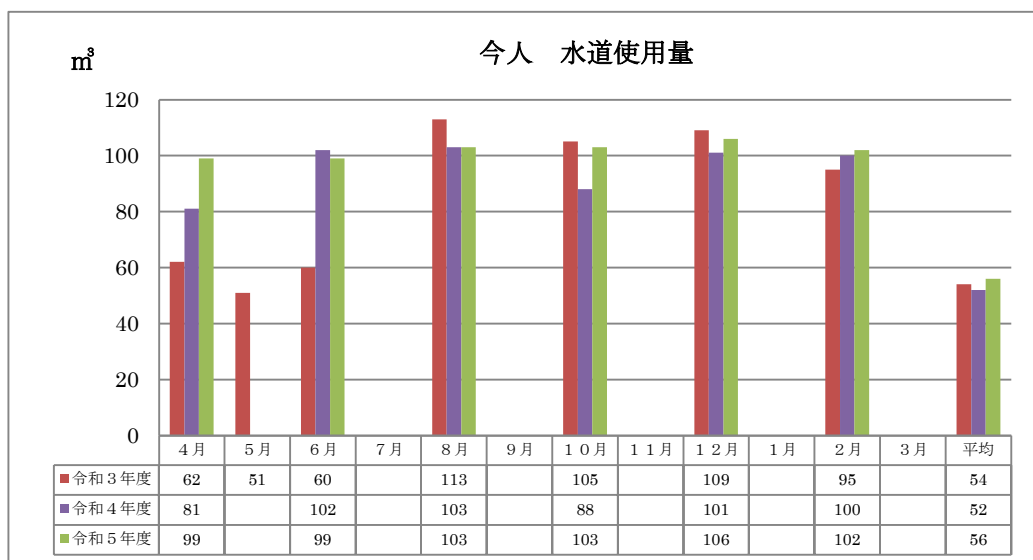
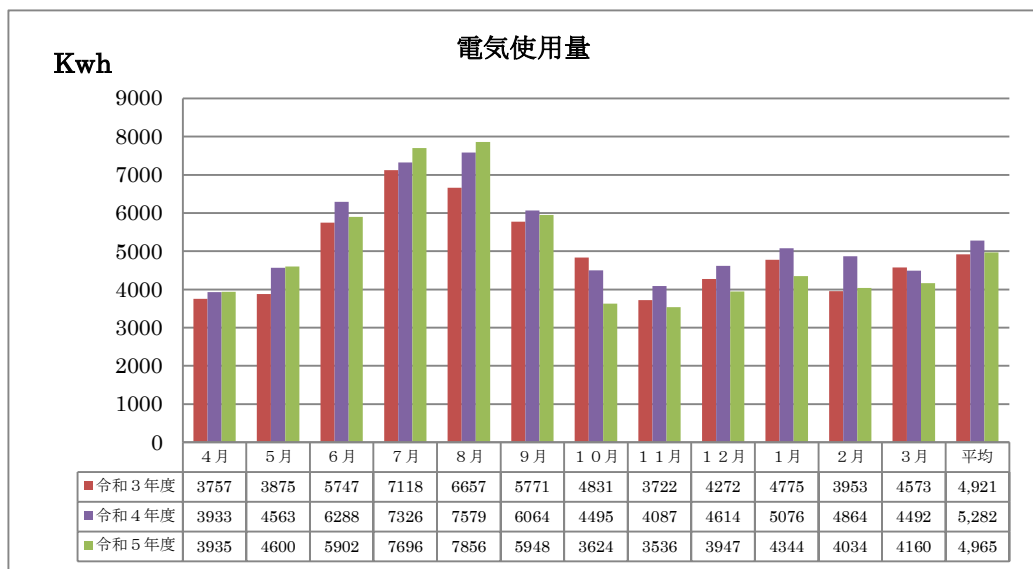
	令和4年度	令和5年度	対前年度比較	
			使用量	金額
電気	11,279千円	10,213千円	104.0%	90.5%
水道	5,153千円	5,480千円	104.3%	106.3%



② 今人拠点（今泉）

電気、水道共に無駄な使用を減らす対策は講じており、若干の増減はあるものの安定した使用料で推移しております。

	令和4年度	令和5年度	対前年度比較	
			使用量	金額
電気	1,757 千円	1,697 千円	94.0%	96.6%
水道	124 千円	139 千円	106.4%	112.1%

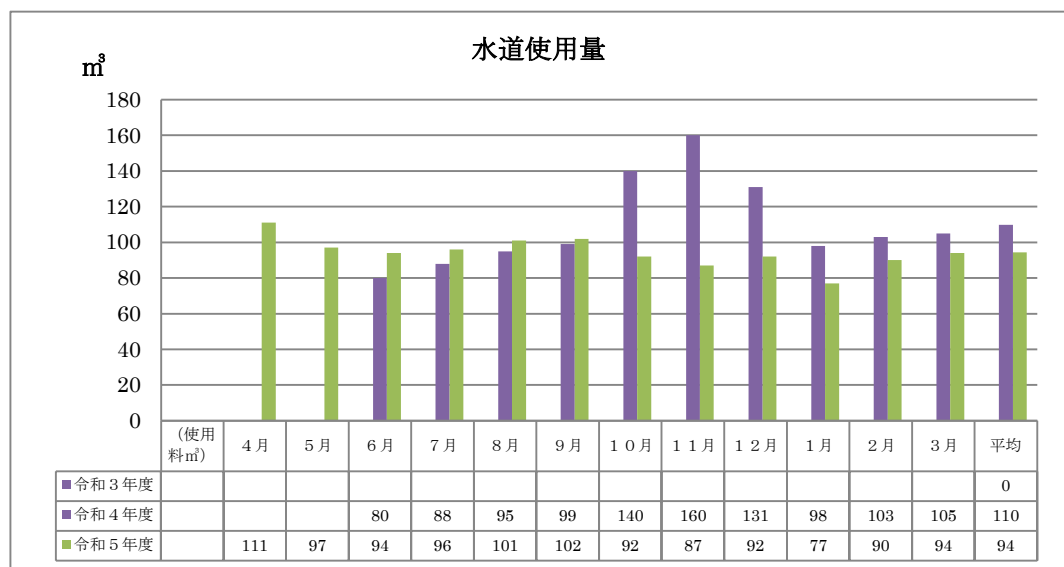
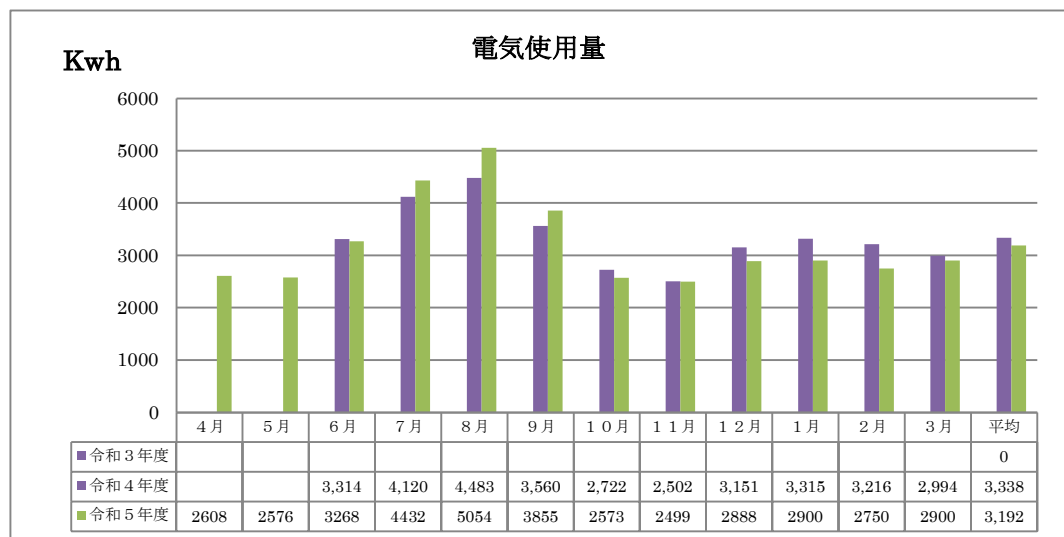


③ そら（福祉センター内）

令和4年度が10か月の使用であったため、金額及び使用量は増加となっております。売上の増加を考えると、電気及び水の使用量は、無駄なく抑えることができていると考えます。重なる10か月を比較すると、夏場の電気使用量は多いものの、その他の月では、安定して無駄なく使用できております。

	令和4年度	令和5年度	対前年度比較	
			使用量	金額
電気	845千円	969千円	114.8%	114.7%
水道	483千円	498千円	166.0%	103.1%

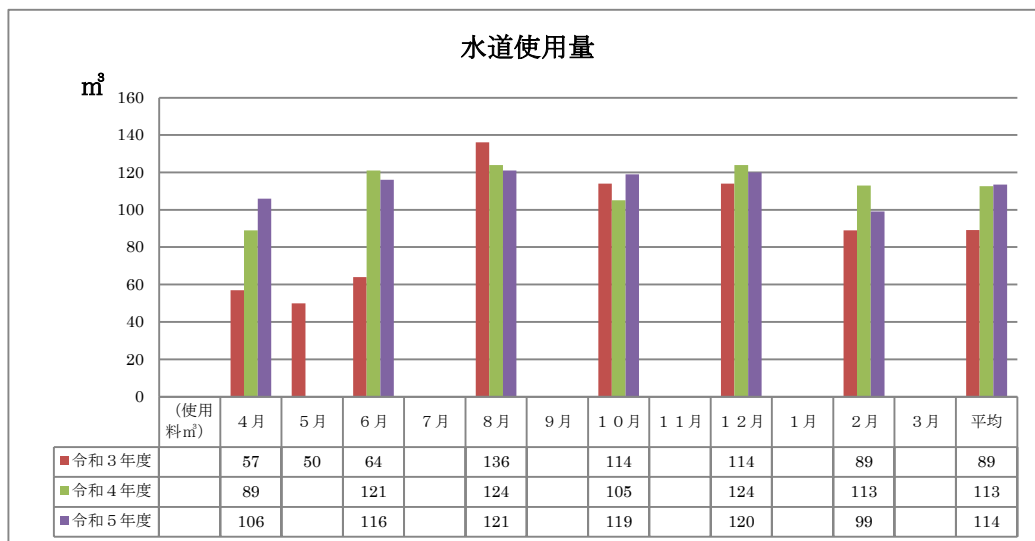
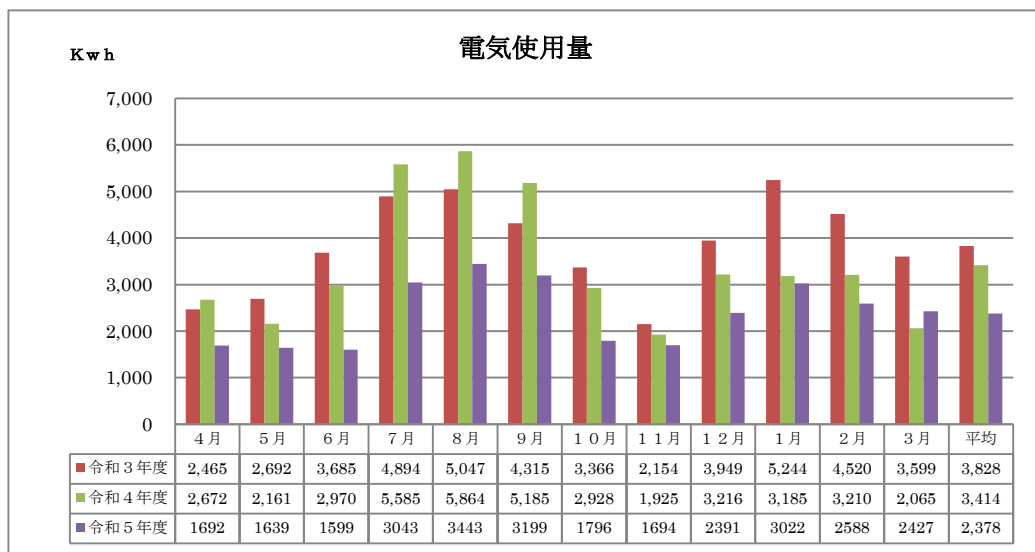
※電気、水道共に令和4年度は、10か月の使用であります。



④ すみれの里

エアコンの入替と運用で、大きく下回ることができております。水の使用は、大きな変動もなく無駄なく使用しております。

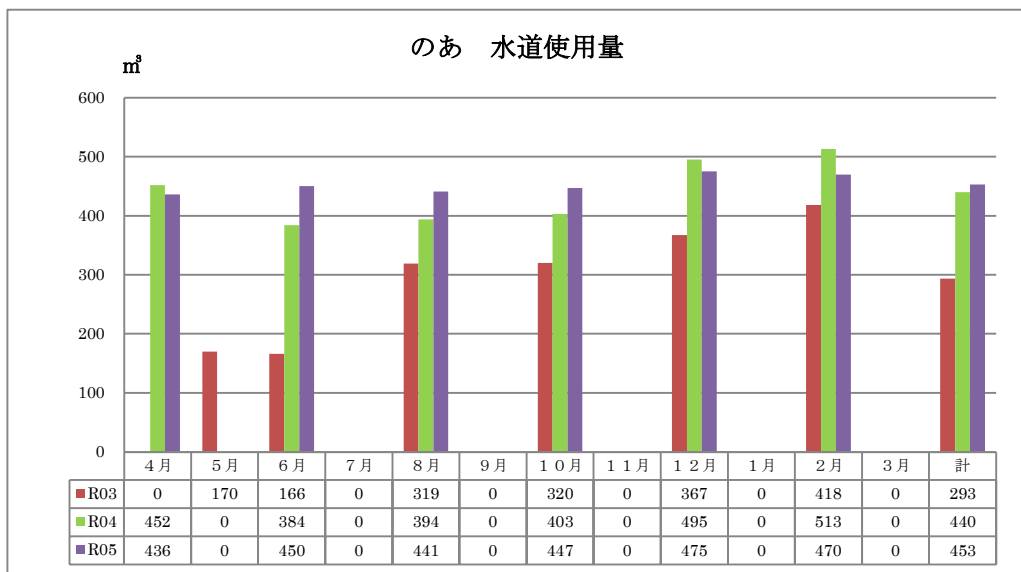
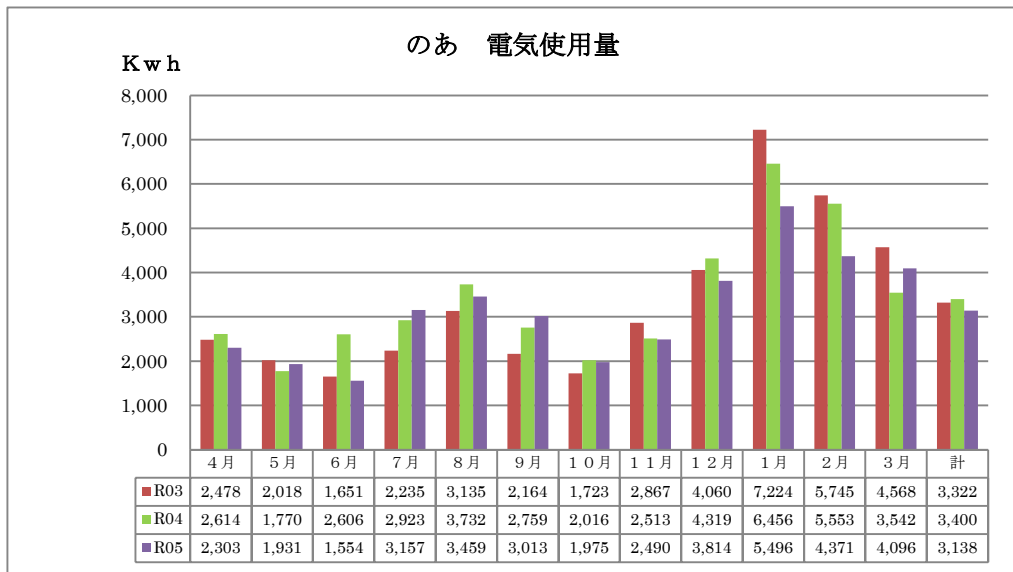
	令和4年度	令和5年度	対前年度比較	
			使用量	金額
電気	1,367 千円	996 千円	69.7%	72.9%
水道	246 千円	267 千円	100.7%	108.8%



⑤ のあ（穴虫 グループホーム）

電気使用については、改善し減少しております。水道量も安定して使用されており、使用の多い部屋については、使用方法について検討を行ない改善を行なっています。

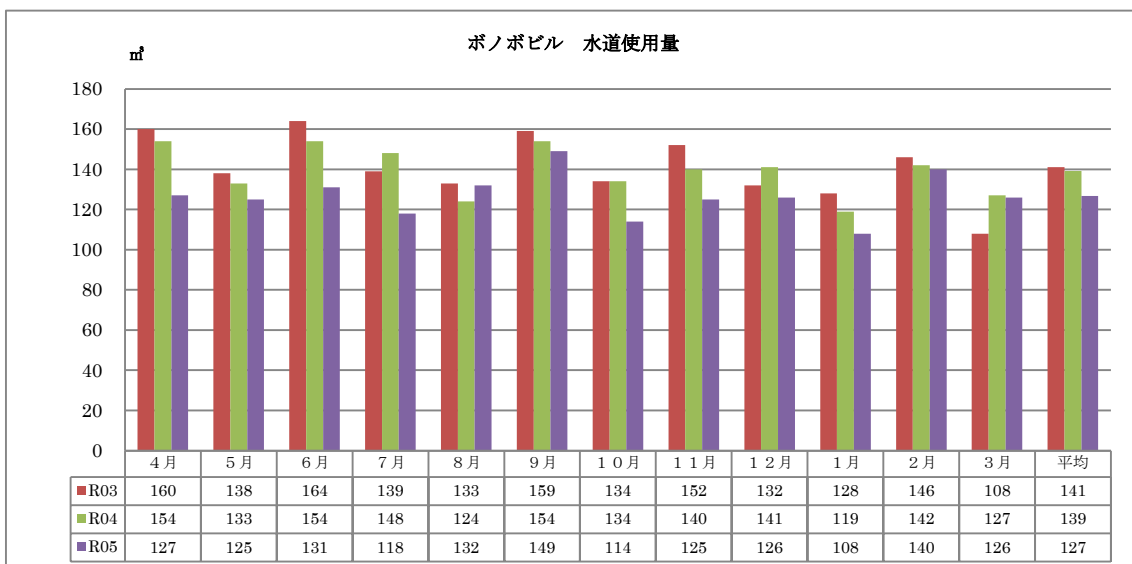
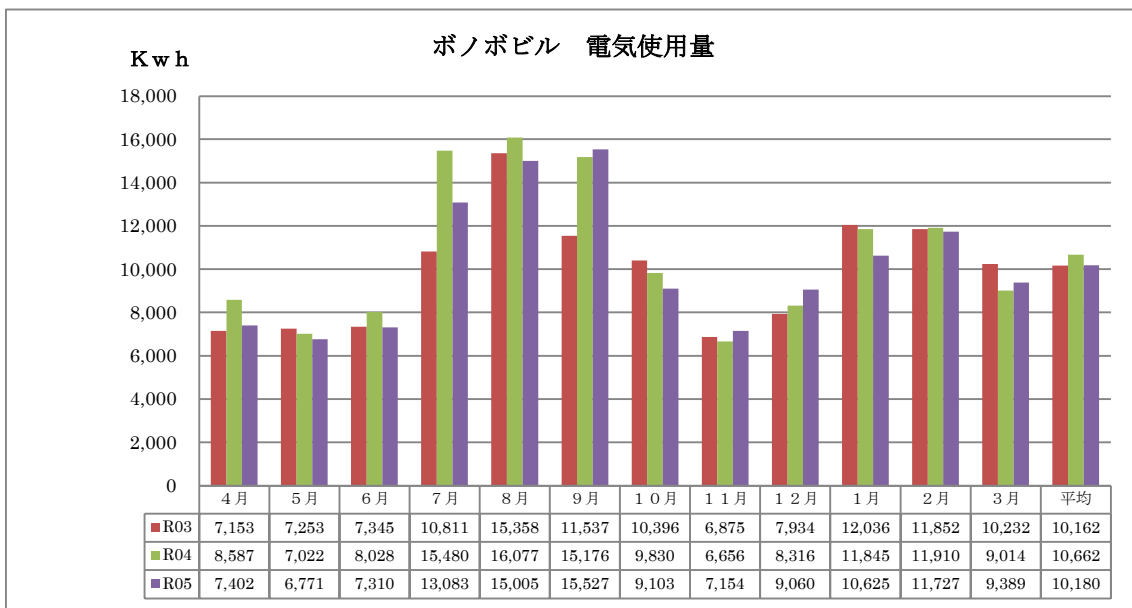
	令和4年度	令和5年度	対前年度比較	
			使用量	金額
電気	1,189 千円	870 千円	92.2%	73.1%
水道	439 千円	485 千円	103.0%	101.3%



⑥ ボノボビル（磯壁 地域拠点）

電気、水道共に無駄をなくし使用できていることで減少しました。

	令和4年度	令和5年度	対前年度比較	
			使用量	金額
電気	4,215 千円	3,810 千円	95.4%	90.3%
水道	302 千円	286 千円	91.0%	94.8%



□令和5年度就労支援施設の就労金について

令和4年度は、新型コロナウイルスの影響も激減し飲食店の売上が大幅に回復しました。各活動の売上回復に伴い、就労収支より工賃支給が可能な事業が増えました。

年々工賃支給総額は増加していくこととなりますが、引き続き予定工賃を支給できるように、活動を活性化させ売上が上がる仕組みを構築し、より多くの工賃を支給できるように支援していきます。

○各事業における1人1カ月当たり支給の工賃（賃金）

（単位：円）

		令和4年度		令和5年度		
		工賃総額	1人当たり/月	工賃総額	1人当たり/月	
今人	就労継続B型	2,045,555	20,097	1,707,540	20,105	↑
	生活介護	2,825,941	13,302	2,701,886	12,861	↓
	計	4,871,496	—	4,409,426	14,946	
我楽	就労継続B型	3,753,576	20,390	3,730,779	25,033	↑
	生活介護	700,460	5,005	716,775	5,038	↑
	計	4,454,036	—	4,447,554	12,466	
すみれの里	就労継続B型	2,466,840	29,282	2,810,760	33,497	↑
	生活介護	718,690	3,655	655,990	3,360	↓
	計	3,185,530	—	3,466,750	12,419	
合 計		12,511,062	—	12,323,730	13,237	

※1人当たりの工賃は、令和5年度「就労継続支援B型に係る基本報酬の算定区分に関する届出書」を使用。生活介護も同様の方法で算出。

○各事業の就労収入に占める工賃（賃金）割合

		令和4年度	令和5年度	
今人	就労継続B型	45.1%	36.5%	↓
	生活介護	33.2%	25.6%	↓
	計	37.3%	28.9%	↓
我楽	就労継続B型	16.4%	17.5%	↑
	生活介護	3852.9%	3723.8%	↓
	計	19.5%	20.9%	↑
すみれの里	就労継続B型	18.9%	16.9%	↓
	生活介護	130.8%	238.3%	↑
	計	23.4%	20.6%	↓
合 計		25.3%	23.1%	↓

※就労収入には、内部売上を含む。

□令和5年度固定資産の推移について

令和5年度は、ゆらくの里において「記録システム」の導入を検討しておりましたが1000万円を計上しておりましたが、助成金申請時期や法人全体での導入として再検討となったため未実施となりました。購入資産多くが、経年劣化による更新となっております。また児童において、「置き去り防止装置」の設置が義務化され、助成金を活用して導入しております。

なお、すみれの里の民営化により、固定資産として建物（簿価 68,943,858 円）、車両（簿価 428,524 円）を計上しております。

◎取得一覧

単位：円

内容	金額	拠点区分	予算
《建物》			
ボノビビル 2階エアコン	660,000	地域	
ゆらくの里 3G廊下エアコン	462,000	ゆらくの里	
《構築物》			
駐輪場カーポート	242,000	ゆらくの里	
2G側出入り口カーポート	792,000	ゆらくの里	
《機械装置》			
みのり 中継ポンプ	693,000	ゆらくの里	
《車両運搬具》			
農園用キャラバン	1,345,520	ゆらくの里	
アート用ハイエース	1,934,500	ゆらくの里	
《器具備品》			
斑鳩畑休憩室エアコン	264,000	ゆらくの里	
パン工房 縦型ミキサー	604,900	今人	
パン工房 縦型冷凍庫	272,800	今人	
パン工房 洗濯機	161,823	今人	
プレイマット	125,997	地域	
短期入所用洗濯機	180,000	ゆらくの里	
企画 パソコン	139,920	ゆらくの里	
置き去り防止装置	699,600	地域	
計	8,578,060		

◎処分一覧

単位：円

内容	金額	拠点区分	予算
ボノボ2階 エアコン	1	地域	
ゆらくの里 庭	124,500	ゆらくの里	
すみれの里 BDF精製機	1	今人	
ワゴンR (財団)	1	ゆらくの里	
ゆらくの里 簡易ステージ	1	ゆらくの里	
〃	1	ゆらくの里	
ゆらくの里 リネン室汚物除去機	1	ゆらくの里	
今人 ミキサー	1	今人	
みのり 汚水ポンプ	1	ゆらくの里	
リネン室 エアコン	1	ゆらくの里	
みのり 汚水ポンプ	1	ゆらくの里	
そら エスプレッソマシーン	1	今人	
風鈴山荘 洗濯機	1	ゆらくの里	
企画 パソコン	1	ゆらくの里	
企画 パソコン	1	ゆらくの里	
なごみ2階 テレビ	70,596	ゆらくの里	
計	195,110		

※同資産処分に伴い、国庫補助金等の取崩額はありませぬ。

□令和5年度修繕費の推移について

1. 過去3年間の推移

ゆらくの里は老朽化に伴い、厨房内水回りや居室扉の修理のほか、主に排煙窓のメンテナンスを行ないました。今人拠点では、すみれの里の活動であったBDF精製機を撤去。同活動場所の原状復帰費用が発生しました。地域事業においては、カフェのオープンが壊れたための修繕を実施しております。

単位：円

拠点	令和3年度	令和4年度	令和5年度
ゆらくの里	6,258,877	13,673,950	6,611,217
今人	399,902	140,477	1,567,682
地域	594,543	2,524,581	910,224
計	7,253,322	16,339,008	9,089,123

2. 修繕事業別内訳

ゆらくの里では、水回りの修繕も大きな割合を占めておりますが、令和5年度は、「その他設備」（ゆらくの里排煙窓メンテナンスなど）で、これまであまり発生していない設備の修繕費用が発生しました。

単位：円

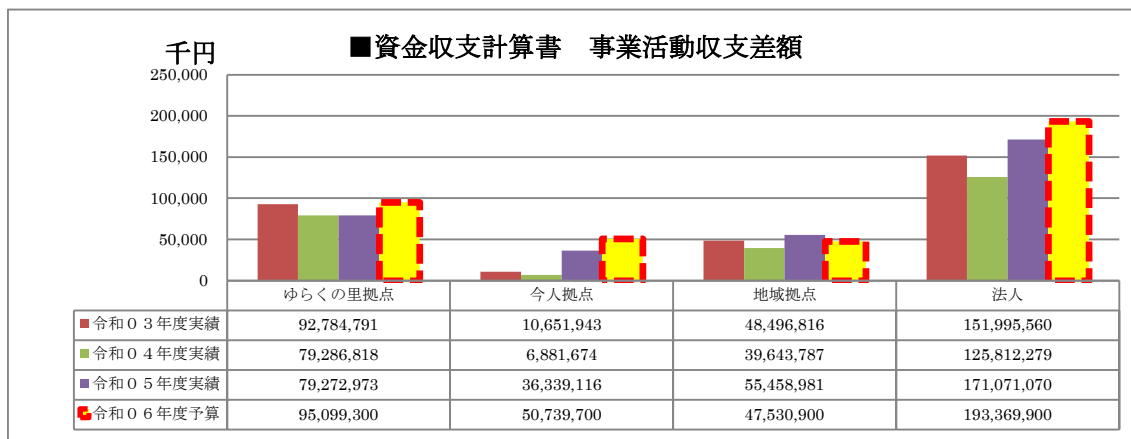
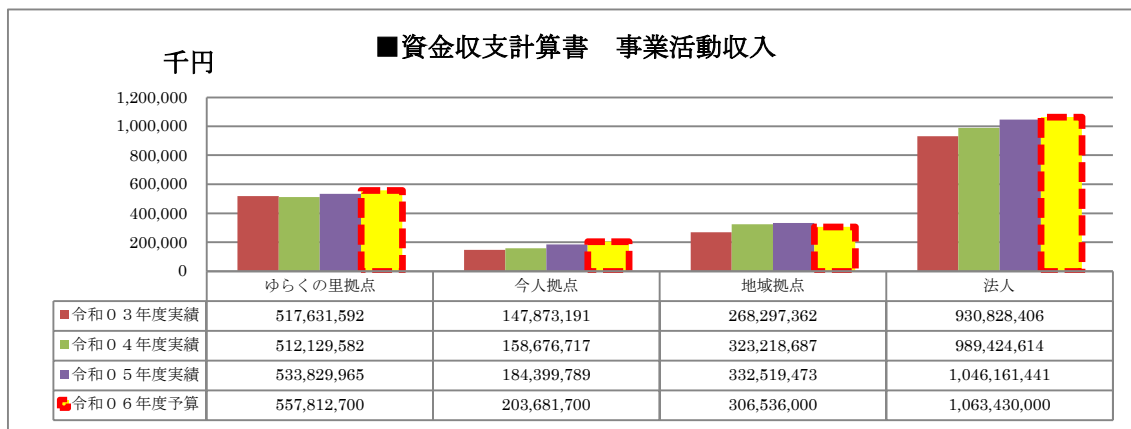
分類	ゆらくの里	今人	地域	計
水回り（機械含む）	1,635,920	73,700	45,160	1,754,780
ガラス	89,826	—	—	89,826
その他設備	4,885,471	1,360,037	524,064	6,769,572
製造原価	—	133,945	341,000	474,945
計	6,611,217	1,567,682	910,224	9,089,123

□令和5年度 経営成績について

令和4年度は、事業活動収入は増加させることができましたが、令和3年度の「過去最高」時より経費が増加（特に人件費）したことで、事業活動収支差額が減少しました。現在資金増を図るのは、将来の法人運営にかかる費用（新規事業、ゆらくの里旧棟の改修費用など）資金の捻出等を目的としており、連続して減少させることなく、高い水準で収支差額を確保できるよう運営しております。

令和5年度の結果は、「過去最高」であった令和3年度と比べ、事業活動収入は、115,333,035円（112.3%）増の1,046,161,441円と10億円を超えることができました。また事業活動収支差額も19,075,510円（112.5%）増の171,071,070円と「過去最高」を更新することができました。収入及び収支については、各事業の運営が、予定通り以上の結果を残すことができましたからであります。

令和6年度の予算は、更に伸びると計算しておりますが、人員確保が困難となっており、支援者の不足によりご利用を減らして運営せざるを得ない事業もあります。早ければ令和6年度より新規事業に着手し、ゆらくの里の改修を進めることとなります。無理な経営をするのではなく、ご利用者様が喜び利用いただけるサービスの提供を行ない、自然と安定した経営ができるように努めてまいります。



○拠点別報告

1. 法人全体として

資金収支計算書において、事業活動収入は、56,736,827円増（前年度比105.7%、予算達成率101.0%）の1,046,161,441円、事業活動支出は、11,478,036円増（前年度比101.3%、予算達成率99.7%）の875,090,371円、結果、事業活動収支差額は、45,258,791円増（前年度比136.0%、予算達成率107.9%）の171,071,070円と令和3年度を超え、「過去最高」を更新することができ、事業活動収入も10億円をこえました。

収入の内訳として、就労収入は、レストラン事業の売上が大きく回復しましたが、カフェで苦戦するなど、3,840,458円増（前年度比108.6%、予算達成率100.1%）と大幅な増加とはなりません。また、福祉収入は、利用率の向上などで多数の事業で前年度実績を上回る運営ができたことから、61,178,828円増（前年度比106.6%、予算達成率100.8%）の991,011,397円と更に増加することができました。一方、費用の内訳として人件費は、労働基準監督署の立ち入りにより未払給与の支払いが発生しましたが、無駄を省いた人員配置を実施した結果、10,525,873円（前年度比101.7%、予算達成率102.1%）の646,144,092円とできる限り増加を抑えることができました。結果事業活動収支差額は、45,258,791円増（前年度比136.0%、予算達成率107.9%）の171,071,070円と「過去最高」の結果を残すことができました。

《要約事業活動収支計算書》

	単位：円		
	R04年度	R05年度	増減
事業活動収入	989,424,614	1,046,161,441	56,736,827
事業活動支出	863,612,335	875,090,371	11,478,036
事業活動収支差額	125,812,279	171,071,070	45,258,791

《事業活動収入》

	単位：円		
	R04年度	R05年度	増減
就労事業収入	44,878,063	48,718,521	3,840,458
福祉サービス収入	929,832,569	991,011,397	61,178,828
その他	14,713,982	6,431,523	△8,282,459
計	989,424,614	1,046,161,441	56,736,827

《事業活動支出》

	単位：円		
	R04年度	R05年度	増減
人件費	635,618,219	646,144,092	10,525,873
事業費	104,284,285	110,326,366	6,042,081
事務費	71,853,225	66,787,601	△5,065,624
就労支援事業支出	49,290,831	49,133,534	△157,297
その他	2,565,775	2,698,778	133,003
計	863,612,335	875,090,371	11,478,036

2. ゆらくの里拠点

ゆらくの里（入所支援、生活介護、短期入所）、風鈴山荘（共同生活援助、短期入所）、

《要約事業活動収支計算書》

単位：円

	R04 年度	R05 年度	増減
事業活動収入	512,129,582	533,829,965	21,700,383
事業活動支出	432,842,764	454,556,992	21,714,228
事業活動収支差額	79,286,818	79,272,973	△13,845

《事業活動収入》

入所支援事業を除く全事業において、前年度実績を上回りました。また入所支援事業も令和4年度の助成金（コロナ助成金及び処遇改善特例交付金など）分の減少であり、実質事業活動収入は維持できております。増加した事業においては、定員を満たすこと、短期入所事業の受入を積極的に行ったことでの結果であります。

単位：円

	R04 年度	R05 年度	増減
就労事業収入	—	—	—
福祉サービス	500,042,428	529,085,267	29,042,839
その他	12,087,154	4,744,698	△7,342,456
計	512,129,582	533,829,965	21,700,383

《事業活動支出》

増加は、ほぼすべて人件費が要因となっております。労働基準監督署による未払給与の支払いなどが増加要因となりました。

単位：円

	R04 年度	R05 年度	増減
人件費	316,856,984	336,553,644	19,696,660
事業費	72,477,026	79,585,054	7,108,028
事務費	41,077,924	35,784,230	△5,293,694
就労支援事業支出	—	—	—
その他	2,430,830	2,634,064	203,234
計	432,842,764	454,556,992	21,714,228

3. 今人拠点

今人（生活介護、就労継続B型、就労定着）、すみれの里（生活介護、就労継続B型）

《要約事業活動収支計算書》

単位：円

	R04 年度	R05 年度	増減
事業活動収入	158,676,717	184,399,789	25,723,072
事業活動支出	151,795,043	148,060,673	△3,734,370
事業活動収支差額	6,881,674	36,339,116	29,457,442

《事業活動収入》

事業活動収入は、25,723,072 円増（前年度比 116.2%、予算達成率 97.9%）の 184,399,789 円となりました。就労事業収入、福祉収入共に前年度を大きく上回りましたが、福祉収入は予算を達成できませんでした。ご利用者の獲得やお休みされるご利用者様への利用の働きかけなどは継続して実施していきます。

単位：円

	R04 年度	R05 年度	増減
就労事業収入	26,609,659	32,021,493	5,411,834
福祉サービス	131,030,912	151,906,214	20,875,302
その他	1,036,146	472,082	△564,064
計	158,676,717	184,399,789	25,723,072

《事業活動支出》

採用が困難となっている現状、退職者が出てすぐ雇用するのではなく、現状配置の見直しを行ない、人の無駄をなくした結果、人件費の減少、事業活動支出の減少につながりました。

単位：円

	R04 年度	R05 年度	増減
人件費	103,230,627	96,162,910	△7,067,717
事業費	11,518,377	11,174,217	△344,160
事務費	10,513,101	12,163,156	1,650,055
就労支援事業支出	26,490,797	28,557,240	2,066,443
その他	42,141	3,150	△38,991
計	151,795,043	148,060,673	△3,734,370

4. 地域拠点

しえ〜く（相談支援）、はぐらいぶじょい（放課後等デイサービス）、のあ（共同生活援助、短期入所）、我楽（生活介護、就労継続B型）、そ〜る（行動援護、移動支援等）

《要約事業活動収支計算書》

単位：円

	R04年度	R05年度	増減
事業活動収入	323,218,687	332,519,473	9,300,786
事業活動支出	283,574,900	277,060,492	△6,514,408
事業活動収支差額	39,643,787	55,458,981	15,815,194

《事業活動収入》

事業活動収入は、9,300,786円増（前期比102.9%、予算達成率100.8%）の332,519,473円となりました。就労収入においては、前期回復したカフェが伸び悩むなど減少に転じてしまいました。一方で福祉収入は、各事業において利用率の増加を図り、前年度増となりました。

単位：円

	R04年度	R05年度	増減
就労事業収入	22,726,276	21,166,264	△1,560,012
福祉サービス	298,759,229	310,019,916	11,260,687
その他	1,733,182	1,333,293	△399,889
計	323,218,687	332,519,473	9,300,786

《事業活動支出》

事業活動支出は、6,514,408円減（前期比97.7%、予算達成率101.6%）の277,060,492円となりました。人件費をはじめ、事業費、事務費、就労支援事業支出において、すべての分類で減少しました。

単位：円

	R04年度	R05年度	増減
人件費	215,530,608	213,427,538	△2,103,070
事業費	22,443,090	22,040,564	△402,526
事務費	22,196,490	20,563,619	△1,632,871
就労支援事業支出	23,311,908	20,967,207	△2,344,701
その他	92,804	61,564	△31,240
計	283,574,900	277,060,492	△6,514,408

5. 就労事業活動

《活動別収入》

11の就労活動を提供（うち、BDFは令和5年度中に終了のため、現在は10の活動）において、令和5年度も7つの活動で収入が増加しました。金額の大きいふえりーちえ（パン製造販売）やSORA（レストラン事業）で大きく回復したことが就労収入全体の大幅な改善につながりました。

個別活動については、SORAやふえりーちえなど飲食業の改善がありましたが、一方でカフェ事業は、大きく減少するなど、飲食回復の波に乗れませんでした。

就労活動全体の収入アップにより、工賃を事業活動収支より支給することができるようになりました。今後、ご利用者の要望も踏まえ新たな活動提供も検討して行き、活動の活性化、工賃の向上を図ります。また工賃アップは、福祉収入報酬算定基礎につながっていることも意識して運営を行っていきます。

単位：円

活動名		R04 年度	R05 年度	増減	
今人	ふえりーちえ（パン）	9,865,395	11,832,225	1,966,830	119.9%
	そ〜じや（掃除）	2,837,651	2,972,482	134,831	104.7%
	内職	337,811	407,226	69,415	120.5%
	計	13,040,857	15,211,933	2,171,076	116.6%
我楽	菓子	7,611,180	7,446,225	△164,955	97.8%
	カフェ	14,749,686	12,219,489	△2,530,197	82.8%
	内職	18,180	19,248	1,068	105.8%
	和食堂	418,150	1,553,000	1,134,850	371.3%
	計	22,797,196	21,237,962	△1,559,234	93.1%
すみれ	BDF	346,484	85,046	△261,438	24.5%
	畑	100,500	82,100	△18,400	81.9%
	内職	102,300	108,100	5,800	105.6%
	レストラン	13,019,518	16,538,699	3,519,181	127.0%
	計	13,568,802	16,813,945	3,245,143	123.9%
合計		49,406,855	53,263,840	3,856,985	107.8%

※内部売上を含む。

《活動別収支》

単位：円

活動名		売上	経費	利益	利益率
今人	ふえりーちえ (パン)	11,832,225	9,959,739	1,872,486	15.8%
	そ〜じや (掃除)	2,972,482	2,395,522	576,960	19.4%
	内職	407,226	548,647	△141,421	—
	計	15,211,933	12,903,908	2,308,025	15.1%
我楽	菓子	7,446,225	7,753,885	△307,660	—
	カフェ	12,219,489	11,735,414	484,075	3.9%
	内職	19,248	716,775	△697,527	—
	和食堂	1,553,000	1,217,650	335,350	21.5%
	計	21,237,962	21,423,724	△185,762	—
すみれ	BDF	85,046	391,475	△306,429	—
	畑	82,100	98,600	△16,500	—
	内職	108,100	645,910	△537,810	—
	レストラン	16,538,699	15,304,033	1,234,666	7.4%
	計	16,813,945	16,440,018	373,927	2.2%
合計		53,263,840	50,767,650	2,496,190	4.6%

《活動経費（原価）率》

ふえりーちえについては、材料費率を下げることでありますが、カフェ及びSORA（レストラン）は材料費率が上昇しております。食材の高騰など下がる要素が少ない中、下げる努力は行ってきました。一方で、労務費が減少しました。令和6年度、工賃規程が整備され、支給金額が変わり支給金額の改善が行われます。

単位：円・%

活動名		材料費		労務費		経費		計
今人	ふえりーちえ (パン)	3,464,036	29.2	2,464,036	20.8	3,871,434	32.7	9,959,739
	そ〜じや (掃除)	—	—	1,306,584	43.9	1,088,938	36.6	2,395,522
	内職	—	—	478,573	117.5	70,074	17.2	548,647
	計	3,464,036	22.7	4,409,426	28.9	5,030,446	33.0	12,903,908
我楽	菓子	2,185,622	29.3	2,236,421	30.0	3,331,842	44.7	7,753,885
	カフェ	6,279,157	51.3	1,434,758	11.7	4,021,499	32.9	11,735,414
	内職	—	—	716,775	3723.8	—	—	716,775
	和食堂	766,342	49.3	59,600	3.8	391,708	25.2	1,217,650
	計	9,231,121	43.4	4,447,554	20.9	7,745,049	36.4	21,423,724
すみれ	BDF	—	—	8,160	9.5	383,315	450.7	391,475
	畑	24,357	29.6	1,920	2.3	72,323	88.0	98,600
	内職	—	—	645,910	597.5	—	—	645,910
	レストラン	6,880,305	41.6	2,810,760	16.9	5,612,968	33.9	15,304,033
	計	6,904,662	41.0	3,466,750	20.6	6,068,606	36.0	16,440,018
合計		19,599,819	36.7	12,323,730	23.1	18,844,101	35.3	50,767,650

※外注加工賃（外注仕入）は、材料費に含む。

※割合は、対売上高比率

◆パン事業〔今人：生活介護事業など ふぇり〜ちえ〕

「ふぇり〜ちえ」においてパンの売り上げを向上させるために、イベント販売の参加や新規販売ルート開拓として『居宅介護支援センターえん』の販売活動を新たに開始しました。ご利用者様には、レジの計算や商品を袋に詰めお客様に渡す作業を主に活動して頂きました。結果、ふぇり〜ちえの就労収入は前期比 119.9%の 11,832,555 円まで増加させることができました。令和6年度も継続して就労収入を向上できるよう努めます。

◆掃除事業〔今人：就労移行支援事業 そ〜じや〕

清掃班は、令和5年度、高齢者施設の委託清掃業務がコロナ感染対策の影響による制限も徐々に緩やかになり、令和4年度より収入を多く残す事ができています。ご利用者様に主に取り組んだお仕事の内容は、浴室清掃、食堂の清掃、トイレ清掃、ポスティング活動となります。収入も前期比 104.8%の 2,792,482 円と増やすことができました。令和6年度も継続して就労収入を向上できるよう努めます。

◆内職班〔今人：生活介護事業〕

内職班は、ワイヤー切り、巻き、袋入れ、梱包、ブラシの袋入れ、砂の袋入れを中心に内職作業を実施しています。また資材が不足しないよう内職業者にも連絡を取り合いながら、資材の確保に努めました。新しい内職作業として、洗濯代のゴム付け、梱包作業、にチャレンジしました。予算をクリアする事はできませんでしたが、前期比 120.5%の 407,226 円と就労収入を多く残す事ができています。

今後も新しい内職作業を模索、提供していき、チャレンジすることでご利用者様のできる作業が一つでも多く増え、ご本人の自信に繋がるよう日々取り組んでいきます。

◆製菓事業〔我楽：就労継続B型事業 スウィートファクトリー モンステラ〕

ご利用者様への支援方針を「ご利用者が出来る仕事を増やし、やりがい・働きたいを感じて頂く。」として、ご利用者様主体で製造できる商品を中心に活動の充実に向け取り組みました。

「就労事業の収支改善を図る。」ために、費用対効果を考えながら取り組みました。イベント販売への参加も、コロナの影響も少なくなり少しずつ増えてきました。販売先も営業活動を行った結果、新規の販売先（置き売り）や契約していた販売先への商品数の増加につながりました。今後も継続し販路拡大と収入増につなげていきたいと考えます。

◆カフェ事業〔我楽：就労継続B型事業 ナチュラルカフェ モンステラ〕

「就労事業の収支改善を図る。」ために、客数の増やすことを目標にサンドイッチの改良・開発、パンの新商品導入、イベントや SNS の発信など取り組みましたが、客数

の改善には至りませんでした。情報発信や新商品の開発には重点を置き継続して取り組んでいきます。パン製造の要であるオーブンの故障（3段中1段使用不可、もう1段も不調）もあり、予定通りの製造ができませんでした。令和6年度にオーブンの入れ替えを行います。（令和6年7月予定）

今後も収入アップにつながる取り組みを実施し、売上の向上に取り組み、ご利用様の工賃アップを目指すと共に、障がいのある方の働く場を創設することに繋げていきたいと考えています。

◆食堂事業〔我楽：就労継続B型事業 ふれあい食堂「なごみ」〕

オープンし1年が過ぎました。売上の落ち込む時期もありましたが、価格改定や新商品の導入など少しずつ売上を増やしています。売上は、文化センターのイベントや行事にも左右されますが、少しずつリピートしてくださる方も増えております。

今後も、売上の向上の取り組みを検討し実施していきます。

◆レストラン事業〔すみれの里：B型事業 ふれあいキッチン「空・SORA」〕

香芝市総合福祉センターに移転し業務を再開してほぼ1年が経過しました。現状としてコロナ禍以前の活気を取り戻しております。

業務の内容としてレストラン業務の他に弁当の製造販売、配達と色々な業務を行いご利用様とスタッフが力を合わせて事業を運営しています。その中において、日々のご利用様の業務として、出勤後は掃除、開店準備、お弁当の盛り付け作業を役割分担して取り組み、店舗営業中はキッチンとホールに分かれて、接客やレジ対応、配膳、下膳、調理、洗い物、盛り付け等の作業行なっております。毎月1度の余暇活動についても、ご利用様が行きたい所や経験したい事等を取り入れ実施しております。

就労収支を向上させるため、年間を通して来店及び注文を増やすため、美味しい料理を提供しリピーターになって下さるお客様を増やす事を目的のひとつとして取り組んでおります。季節ごとに旬の食材を活用したメニューを考案し美味しく健康に配慮したお料理の提供を行う事で昨年より多くのお客様に来店いただきました。

特に売上に貢献したメニューとして、9月販売「串揚げランチ」、10月販売「カキフライランチ」が特筆して好評でありました。「串揚げランチ」は季節メニューから通常メニューする事で、現在も多くのお客様に注文いただけるメニューとして提供しております。

年間を通して売上を支えるメニューが「日替わりランチ」と「日替わり弁当」です。日替わりランチで300食/月以上、日替わり弁当で600～700食/月の注文があり令和5年度からの主力の商品となりました。

SORAとして毎月の売上目標の設定を行い、目標を意識することで前年比をクリアするだけでなくコロナ前の水準以上に改善しております。

◆モンステラファーム〔すみれの里：生活介護事業〕

就労移行支援B型から生活介護事業へと移行する事で、売上重視ではなくご利用者が、屋外での活動を行う場所としての役割を重視し事業活動を行っております。
(活動内容)

野菜づくり、畑内の除草、石拾い、水やり、収穫作業、出荷作業

生活介護のご利用者様が農作業経験としての作業は、直射日光による紫外線等の影響を無くするために必ず軍手と帽子を着用し外部での作業をしています。無理の無い範囲で収穫や運搬を職員と一緒にいき、活動内容の詳細についても職員と相談しながら実施しました。農作物の販売先である福祉センターにおいて、地域の方とのつながりやご利用者様の活動として取り組んでいます。ご利用者様の高齢化・重度化に伴い農作業に従事できる方が減少傾向にある為、ご利用者様への活動提供としてのあり方を検討し畑作業の環境を整える事から改善を始めております。

◆環境班 活動終了

= 廃油回収・空き缶、新聞、段ボールの回収 =

香芝市との協議の結果、令和4年度をもって廃油回収活動を終了しており、それに合わせて段ボール回収等の活動も終了しました。

◆内職班〔すみれの里：生活介護事業〕

= タッパーの組立・ラベル貼り・段ボールへの梱包作業 =

ご利用者様のできることに応じて作業工程を割り振り、機能訓練として作業に携わっていただけるようにしております。

週間活動予定を定期的に設定し、重度のご利用者様であっても従事しやすく、意欲的に参加される方も多く、やりがいに繋がっている活動であります。

□資金残高について

◆資金（預金残高）の推移について

1. ゆらくの里拠点・地域拠点

単位：円

	令和2年 3月31日	令和3年 3月31日	令和4年 3月31日	令和5年 3月31日	令和6年 3月31日
実残高	182,104,118	200,635,193	302,465,095	374,522,106	487,200,662
積立	110,298,000	79,700,000	123,100,000	173,500,000	232,750,000
会計上 現預金残	71,806,118	120,935,193	179,365,095	201,022,106	254,450,662
前期 比較	↑ 10,967,272	↑ 18,531,075	↑ 101,829,902	↑ 72,057,011	↑ 112,678,556

※前期比較は、預金実残高で比較

2. 今人拠点

単位：円

	令和2年 3月31日	令和3年 3月31日	令和4年 3月31日	令和5年 3月31日	令和6年 3月31日
実残高	55,755,968	47,323,901	62,402,289	64,215,674	87,251,227
積立	26,740,000	26,740,000	26,740,000	26,740,000	38,890,000
会計上 現預金残	29,015,968	20,583,901	35,662,289	37,475,674	48,361,227
前期 比較	↑ 1,596,112	↓ 8,432,067	↑ 15,078,388	↑ 1,813,385	↑ 23,035,553

※各事業の収支増に伴い、法人全体の指標より良いと思われる。

◆積立金の使用目的について

現在の積立残高は以下のとおりであります。

単位：円

科目	ゆらくの里	今人	地域	計
施設整備等積立金	178,400,000	23,000,000	52,200,000	253,600,000
工賃変動積立金	—	2,145,000	650,000	2,795,000
設備等整備積立金	—	13,745,000	1,500,000	15,245,000
計	178,400,000	38,890,000	54,350,000	271,640,000

□令和5年度研修等報告

1. ゆらくの里

月日	研修等内容 主催など	開催場所	参加者
4月15日	eサービストレーナーズトレーニング 自閉症eサービス	大阪eサービス研修センター	小川
4月26日	第16回グループホーム等職員研修 近畿地区知的障害者施設協会	草津市民総合交流センター	小川
5月20日	ケーススタディ&何でも相談講座 自閉症eサービス	奈良県総合福祉センター	小川
5月28日	自閉症の特性理解と標準的支援 自閉症eサービス	Z o o m	小川
6月4日	評価から支援へ 自閉症eサービス	Z o o m	疋田、鈴木 谷口
6月18日	構造化のアイデア 自閉症eサービス	Z o o m	疋田、鈴木 谷口、森口
6月25日	コミュニケーション支援 自閉症eサービス	Z o o m	疋田、鈴木 谷口、森口
7月2日	初任者実技と虐待防止講習 自閉症eサービス	Z o o m	小川、谷口 疋田
8月5日	困難事例から考える自閉症基本講座 自閉症eサービス	Z o o m	小川、山本 山林、谷口 森口
8月8日 9日	フレームワークの活用 自閉症eサービス	Z o o m	小川、疋田 森口
8月21日	てんかん基礎講座 日本てんかん協会	Z o o m	山本
8月24日	社会福祉法人主任・係長口座オンライン研修 全国社会福祉法人経営者協議会	Z o o m	小川
8月26日	働く事を実現するための方略 自閉症eサービス	Z o o m	小川、山本 山林
9月9日	TEACCHフィロソフィー 自閉症eサービス	Z o o m	小川、山本
9月16日	困難事例から考える自閉症基本講座 自閉症eサービス	Z o o m	小川、山本 山林、谷口 森口
9月24日	自閉症の人に合わせた活動プログラム 自閉症eサービス	大阪eサービス研修センター	小川、谷口 山本、疋田
9月30日	アセスメントセミナー 自閉症eサービス	ゆらくの里	森口、山林

月日	研修等内容 主催など	開催場所	参加者
10月14日	事例検討①（氷山モデル） 自閉症 e サービス	Z o o m	谷口、山林 小川
10月21日	インテークと初期アセスメント 自閉症 e サービス	大阪 e サービス 研修センター	谷口、山林
10月28日	事例検討②（支援の実際） 自閉症 e サービス	Z o o m	森口、山林
10月29日	問題行動と統一した支援 自閉症 e サービス	大阪 e サービス 研修センター	小川、谷口
11月17日	P E C S が拓く自閉症の人の暮らし 自閉症 e サービス	Z o o m	小川
11月16日 17日	全国知的障害福祉関係職員研究大会 全国知的障害者福祉協会	山梨県	疋田
11月25日	アセスメントからの支援の組み立て 自閉症 e サービス	大阪 e サービス 研修センター	小川、山林 谷口
12月9日 10日	P E C S レベル1 自閉症 e サービス	Z o o m	小川、山林
12月23日	支援実施後の評価と次へのステップアップ 自閉症 e サービス	大阪 e サービス 研修センター	小川、山林 谷口
2月14日	奈良県障害者虐待防止・権利擁護研修 障害者福祉施設管理者・設置者コース 奈良県障害福祉課	奈良県産業会館	岡
4月～	知的障害援助専門員養成講座通信教育 日本知的障害者施設協会	通信教育	井口、河村 山下、若林

2. 今人・我楽・すみれの里

月日	研修等内容 主催など	開催場所	参加者
6月15日	事業力強化セミナー インボイス制度の開設と実務 奈良県社会就労事業振興センター	奈良県社会福祉総合センター	北井、石田 吉岡
6月25日	ベーシック④「コミュニケーション支援」 自閉症 e サービス	Z o o m	服部
7月2日	初任者実技と虐待防止講習 自閉症 e サービス	奈良県社会福祉縫合センター	服部
7月23日 8月21日	第24回 てんかん基礎講座 日本てんかん協会	Z o o m	西川
8月5日	困難事例から考える自閉症基本講座 自閉症 e サービス	Z o o m	大藪 服部

月日	研修等内容 主催など	開催場所	参加者
8月21日	てんかん基礎講座 日本てんかん協会	Z o o m	大藪
8月24日	社会福祉法人主任・係長口座オンライン研修 全国社会福祉法人経営者協議会	Z o o m	平山
9月9日	TEACCHフィロソフィー 自閉症eサービス	Z o o m	服部
9月16日	困難事例から考える自閉症基本講座 自閉症eサービス	Z o o m	大藪 服部
9月25日	アンガーマネジメント基礎研修 奈良県社会福祉協議会	奈良県社会福祉総合センター	西川
9月30日	評価キットを使った現場アセスメント 自閉症eサービス	Z o o m	大藪
11月17日	アンガーマネジメント基礎研修 奈良県社会福祉協議会	奈良県社会福祉総合センター	西川
11月18日	PECSが拓く自閉症の人の暮らし 自閉症eサービス	Z o o m	服部
12月9日 10日	PECSレベル1 自閉症eサービス	Z o o m	服部
12月23日	支援実施後の評価と次のステップアップ 自閉症eサービス	大阪eサービス研修センター	服部
1月22日	奈良県障害者虐待防止・権利擁護研修 共通コース（公開講座） 奈良県障害福祉課	奈良県産業会館	吉岡
1月30日	障害のある人の質の高い就労生活を実現するための就労定着支援セミナー 高松大学発達科学部 山口朋乙香研究室	Z o o m	後藤
2月21日	奈良県障害者虐待防止・権利擁護研修 虐待防止責任者養成コース 奈良県障害福祉課	奈良県産業会館	吉岡

3. 地域支援（のあ）

月日	研修等内容 主催など	開催場所	参加者
8月21日	てんかん基礎講座 日本てんかん協会	Z o o m	松下
1月22日	奈良県障害者虐待防止・権利擁護研修 共通コース（公開講座） 奈良県障害福祉課	奈良県産業会館	松下

2月21日	奈良県障害者虐待防止・権利擁護研修 虐待防止責任者養成コース 奈良県障害福祉課	奈良県産業会館	松下
2月22日	中和地区3市1町障害者自立支援協議会全体会議 中和地区3市1町障害者自立支援協議会	奈良県産業会館	松下

4. 事業企画推進室

月日	研修等内容 主催など	開催場所	参加者
4月26日	第16回グループホーム等職員研修 近畿地区知的障害者施設協会	草津市民総合交流センター	田村
5月19日	令和6年3月新規学校卒業業者等採用 研修会・公正採用選考研修会 厚生労働省・奈良労働局	Web	西原
6月15日	事業力強化セミナー インボイス制度の開設と実務 奈良県社会就労事業振興センター	奈良県社会福祉総合センター	田村
7月5日	介護福祉業界の採用PR講座 (株)Blanket	Web	西原
7月12日	障害福祉サービス等事業所、介護施設・事業所向け 業務継続Webセミナー AIG損保保険(株)	Web	田村・西原
8月4日	安全運転管理者講習 奈良県安全運転管理者協会	ふたかみ文化センター	西原
8月16日	令和5年度 奈良県社会福祉法人経営者協議会 青年経営者会 オープンセミナー	奈良県社会福祉総合センター	西原
8月16日	ライオンズクエストプログラム ワークショップ基本編 青少年育成支援フォーラム	ふたかみ文化センター	田村
8月18日	令和5年度全国経営協 都道府県経営協セミナー(前期) 奈良県社会福祉法人経営者協議会	奈良県社会福祉総合センター	田村・西原
8月22日	見学研修(障害者支援施設ハニカム)	社会福祉法人 ノーマライゼーション協会	田村
9月12日	見学先週(きっずサポートなにわ)	社会福祉法人 なにわの里	田村

9月29日	見学研修（かつらぎ）	社会福祉法人 大阪府障害者 福祉事業団	田村
11月16日 17日	全国知的障害福祉関係職員研究大会 全国知的障害者福祉協会	山梨県	田村

5. 管理部

月日	研修等内容 主催など	開催場所	参加者
6月15日	事業力強化セミナー インボイス制度の開設と実務 奈良県社会就労事業振興センター	奈良県社会福祉総合 センター	大植
11月16日 17日	全国知的障害福祉関係職員研究大会 全国知的障害者福祉協会	山梨県	大植

6. 厨房

月日	研修等内容 主催など	開催場所	参加者
6月27日	給食施設における衛生管理について 中和保健所研修	橿原文化会館	北原、藤崎 中村
7月31日	腸から整える身体と心 奈良県栄養士会	奈良県社会福祉総合 センター	米田
9月13日	大和野菜研修センター見学	大和や再研修センタ ー	米田

苦情・要望等についての解決状況

令和5年4月1日から令和6年3月31日

事業区分	受付			苦情先		苦情内容				処理状況	
	電話	直接	その他	第3者委員	施設	施設設備（運営）に対するもの	支援（支援者）に対するもの	利用者に対するもの	その他	対応解決済	継続実施中
ゆらくの里	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
今人・我楽すみれの里	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
児童課	2	—	—	—	2	—	2	—	—	2	—
のあ	—	4	—	—	4	2	1	1	—	4	—
そ～る 123	2	—	—	—	2	—	2	—	—	2	—
計	4	4	—	—	8	2	5	1	—	8	—